

◆ 無料送迎マイクロバス運行のご案内
秦野駅南口より当分祠近くまで 予約不要無料
期間 元旦(六日)一月十一日(土)十二日(日)
十三日(月祝)十八日(土)十九日(日)二十一日
五日(土)二十六日(日)二月三日(月・節分)

○正月三が日は境内に一三〇台の駐車場・秦野市保健福祉センター他約五〇〇台駐車場を用意しておりますが、毎年大変混み合い利用が難しい状態です。なるべくバスや公共交通機関のご利用にご協力下さいませ。

○新年初祈祷は一月中毎日行っております。(予約不要)

※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有

・・・
福餅まき(午後一時三十分)
福迎祭斎行(午後一時三十分)
・・・

正月三が日を通して境内は入りきれないほどの参拝客に溢れ、新年の干支飾りや破魔矢など正月しかない縁起の良い飾り物に彩られ、賑やかな様相を見せる。元旦より新年初祈祷が催され、古式豊かな出雲神楽の音色を奏で新年最初の願いを神様にお願いする。特に新年の初祈祷には無病息災の「延壽屠蘇」（えんじゆとそ）を特別授与品として用意している（一世帯につき一体・先着千名迄）。



出雲大社の御祭神大国主命は、須佐之男命（スサノオノミコト）の娘、須勢理毘売（スセリヒメ）に見初められて恋に落ちた。しかし、大国主命はこのことを知つた須佐之男命から厳しい試練を与えられることになつた。第一日目は蛇のいる部屋、二日目は蜂や百足の部屋に寝せられたが二夜とも姫の機転で難を切り抜けることが出来た。三日目には大野の中に射込まれた鳴鏑（ナリカブラ）の矢を拾つて来ることを命ぜられた。大国主命が矢を拾いに野原に入るとすぐに火を放たれ、逃げ惑つていると、「ねズミが出てきて『内はほらほら、外はすぶすぶ（内部はうつろで、外部はすぼんぼん）』と言つてゐる」と言うので、そこを踏むと、地下は空洞になつていてそこに落ち込んだ。そのまま避難していると火は焼け過ぎていつた。その上、その鼠は鳴鏑の矢をくわえて持つてきてくれた。こうして大国主命は須佐

The image consists of two photographs of outdoor food stalls. The top photograph shows a red food truck with 'MOBILE KITCHEN' written on it, with several people standing around it. Above the stall are five white lanterns with black markings. In the background, there's a traditional Japanese torii gate and more people walking through the area. The bottom photograph shows a red and white striped stall with a blue canopy. Several people are sitting on low red tables under red umbrellas. A small sign on the stall reads '野点茶の会'. In the background, there's a traditional Japanese building with a tiled roof and some trees.



令和二年新春より、当分祠境内参道に於いて、ダイコク市が開催される。秦野を中心活動する丹沢マルシェ・マーケットとの共同企画となる。Funny's cafeのハンバーガー・ロングボート販売を始め地元商店やクリープ屋台・アルコールドリンク類等・おいしいキッチンカーの出店も予定。当分祠のお正月にしか来ない特



令和二年四月十一日（土）十二日（日）
秦野元気まつり「春の陣」開催決定

Dance Company REIKO
 ◎準優勝
 いせはら舞呼 緋紅組
 ◎第三位
 真鶴ほんばんざめ
 あつばれかくや
 防人踊り隊
 湘南桜組
 聯坊童子 聰
 よさこい踊り隊
 紅組
 よさこい魂和



令和二年節分祭・豆まき開催 ご案内

来る二月三日、節分祭を斎行致します。
併せて立春に先駆けて皆様の厄除招福特別
祈願祭を斎行し、恒例の豆まき神事を執り
行います。善男善女・年男年女の参加を募
集しておりますので、奮ってご参加頂けま
すようご案内申し上げます。

記

Dance Company REIKO
 ◎準優勝
 いせはら舞呼 緋紅組
 ◎第三位
 真鶴ほんばんざめ
 あつばれかくや
 防人踊り隊
 湘南桜組
 聯坊童子 聰
 よさこい踊り隊
 紅組
 よさこい魂和



十二月の晦日、恒例の年越の大祓（おおはらえ）神事が社殿内にて斎行される。神事が社殿内にて斎行される。

年越の大祓の御案内

斎行日
十二月三十日（月）
午後三時
玉串料 三〇〇〇円
授与品 神菓
大祓符 夢枕符

古来我々の先祖は、毎年六月晦日・年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい年の幸せを祈願しました。この祭儀に先立ち「人形・車形」をお届け致しまのでご家族のお身体・お車をお清めになつた後、同封の返信用封筒にてご返送いたくか、大祓当日にご持参下さい。新しい年の一層の「幸せ」のご縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。

出雲大社相模分祠
分祠長 草山清和

【ご参列される場合】
当日ご参列の方は人形ひとがた・車形（くるまがた）をご準備の上、玉串料（三千円）を添えて授与所・受付までお越し下さい。（予約不要・当日参加可）大変込み合いますので二十分前にはお越し下さい。

【郵送される場合】
当日ご参列できない方は事前にお預かり致します。（予約不要・当日参加可）大変お参列の叶わない方は郵便振込にて御祈願料の三千円を入れてご送金下さい。後日、記念の縁起物を発送致します。

愛用して同様に車形に氏名を取り移します。

お祓いします。

場所を全身気息を三回吹きかけ、頭かららかに拂ります。

お祓いします。

（かたしろ）

（かたしろ）